

令和7年度まちづくり提案制度(次世代育成支援事業) 申込団体一覧

申込団体17団体(申込順)
【午前部】

発表時間	団体名	事業名	事業概要(申込書より抜粋)	区分
10:13~10:25	人間環境大学 総合環境学部フィールド自然学科 持続可能な農業サークル	みんなで育てるサツマイモ・タマネギ ～地域とつながる有機栽培プロジェクト～	園児たちや地域の方々と協力してサツマイモの植え付けや収穫体験を行い、焼き芋大会では地域の皆さんと一緒に楽しむことを通じて、世代を超えた交流の機会を創出し、地域の方々とのつながりを深めていきたい。 また、化学肥料や農薬に頼らない有機栽培を実践する中で、自然や環境、食のありがたさについて学びを深め、活動の中ではコンポストの活用や獣害対策にも挑戦し、環境との共生も意識している。 この取り組みを通じて、地域の農業を支える担い手の一歩として、持続可能なまちづくりに少しでも貢献し、農業を「学び」や「地域との絆づくり」の場と捉え、次世代のまちづくりを実践的に行いたい。	大学生
10:26~10:38	ララ Lala梅津寺	子ども喫茶	わたしたちは、「こども喫茶」の活動を通して、地域の高齢者の方とこどもがふれあい、笑顔になれる時間を作ることを目標にしています。 お茶を配ったり、おしゃべりをしたり、昔のあそびをいっしょに楽しむことで、お互いに安心できる関係をつくりたいです。 また、この活動をきっかけに、こどもたちがまちのことを考えたり、人のために行動できるようになることも、もうひとつの大きな目標です。	小学生
10:39~10:51	くぼのもりあげ隊 愛媛大学リーダーズ・スクール	元気で住みやすい松山いつまでも！ ～関係人口増加で持続可能な まつやまづくりプロジェクト～	松山市においては、2024年4月に人口50万人を下回るなど、具体的な対策が急務になってます。 そこで本プロジェクトが目指すのは、地域に住む人々の顔を思い浮かべ、その人々に合うために訪れたいような、温かく人間的なつながり“Meet the People”型の関係人口です。 この“Meet the People”型の関係人口を具体的に育むため、私たちは、人口減少・高齢化が進む松山市窪野町をモデル地区として活動を展開します。 地域で活動されている「くぼの里山会」や住民の方々と大学生が深く連携し、「竹灯籠作成ワークショップの開催」や「農業体験」「棚田オーナー制度」といったプログラムを実施します。これらの活動は単なる体験提供に留まらず、参加者と地域住民が共に汗を流し、語り合い、交流する機会を意図的に設けることで“Meet the People”の関係構築を促進します。	大学生
10:52~11:04	元気いっぱいこども先生	こどもワクワク学校	わたしたちが「こども先生」になって、いろんなことをおしえる学校をつくります。そうすると、まちの人がもっとたのしくなったり、知らなかったことを知れたりして、笑顔がふえると思います。 わたしたちも、先生になってはなしたり考えたりすることで、学校に行きたくなくなったり、そうぞうがいたりして、もっともっと自分が好きになります。 つぎの日が「どきどき」してまちどおしくなるような、そんな楽しいまちにしたいです。	小学生
11:09~11:21	ごごしまキッズクラブ	ごごしま 島ごと こども祭り	私たちの島は松山市高浜港からフェリーで10分ほどの距離にある島であり、こんなに本土と近いのに私たちの島には遊園地はもちろん、ゲームセンターや本屋、児童館、図書館もないので自分たちでイベントを立ち上げることにしました。 楽しむのはもちろん私たちだけでなく、いつも見守ってくれている近所のお年寄りの方や、わたしたちよりもっと小さい子たちやそのお母さんたちです。 また、島の外からもたくさんの人に来ていただき、来てくれた人たちが「興居島っていいね」って言ってもらえたらうれしいです。このイベントをとおして参加してくれた人みんなが笑顔になってほしいと考えています。 島外から来てくれた人が、また興居島に来てくれることで、観光客が増え、お店を開いている人もうれしいのではないかと思います。そうすることで島に笑顔が増えて、今よりもっといい興居島になると考えました。	中学生
11:22~11:34	ひまわり	「フリースクールの子どもたちがつくる まちの文化祭」 ～多様な学びと繋がり場のづくり～	学校という枠組みに馴染めず、現在フリースクールに通う子どもたちは、日々「自分らしい居場所」を模索しながら生活しています。こうした子どもたちは、学校に通うことが難しいだけでなく、地域社会との接点も限られがちであり、自分が社会の一員として役割を持つという実感を得る機会が少なくなっています。 そこで私たちは、「フリースクールに通う子どもたちを中心に据えた「まちの文化祭」の開催を提案します。子どもたちが主体となって企画と運営を行い、それぞれの得意分野や個性を活かしながら、地域の方々へ向けたイベントをつくり上げていき、地域に多様な学びの価値を認める文化を広げるとともに、子どもたちがまちの担い手として存在感を持つような、新たなまちづくりのかたちを表現していきたいと考えています。	大学生
11:35~11:47	リッキー アンド ティンピラ ファミリー Ricky and Timbila Family	ティンピラプロジェクト ～音楽の力で愛媛と モザンビークをつなごう～	市民に開かれたティンピラの演奏会を2か月に1回開催することで、ティンピラの演奏方法を普及し、ティンピラ演奏の輪を広くして、松山でティンピラオーケストラ編成を目指し、楽しみながら活動します。 最終的には、音楽の力でモザンビークという国について知る機会を作り、松山とモザンビークの交流をより密にしていきたいです。	大学生
11:48~12:00	キユーズ 学生団体cues	みんなの教育を守り隊！ Leave no one behind ～より良い社会はより良い教育から～	勉強会を通じて、教育に関する世界の様々な事例に目を向け、学び、議論し、行動する機会を創出することで、日常の中にある身近な社会課題に気づき、解決に向けて主体的に行動するきっかけを創ります。 また、国際的なテーマを取り扱うことで、「松山に暮らしながら世界とつながる」ことの意義を体感し、グローバルな視野を持った地域づくりが可能になり、地域の課題を自分ごととして捉える土壌が育まれると同時に、異なる価値観を尊重し協働する力も養われ、チームで課題解決に取り組む能力の向上も期待できます。 加えて、教育を見つめ直すことで次世代の人材へのポジティブな変化に寄与することができ、活動を通して学んだことを対外的に発信したり、活動をまとめた新聞を市内の小学生に配布したりすることで、より良い教育の普及啓発につなげることができます。	大学生

【午後の部】

発表時間	団体名	事業名	事業概要（申込書より抜粋）	区分
13:00～13:12	銀天街チーム	好きになる、帰りたくなる銀天街へ ～地域の記憶と共に、 銀天街活性化のためのプロジェクト～	銀天街のシャッター数は年々増え、昔ながらの店舗が無くなっているのが現状です。そこで、私達がパンフレットを作成したり、銀天街でイベントを開いたりすることで、銀天街の活性化や景観の向上に貢献したいと考えています。 また、パンフレットには「銀天街の歴史」、「銀天街のおすすめ店やポイント」を書いて銀天街により親しみを持ってもらうことで、地域の方に愛されるような銀天街になり、誰かにとって思い出の場所だった店や風景を守ることができると考えます。	高校生
13:13～13:25	松山西 新世界学辞典	環境負荷の小さい持続可能な牡蠣養殖のためのエンカル消費啓発活動	① 牡蠣養殖の実態、特に牡蠣養殖パイプの扱いについて調査し、松山市のイベント等で松山市民に対して報告する。 ② 漂着ゴミの実態、特に牡蠣養殖パイプの回収を通して漂着状況を調査し、松山市のイベント等で松山市民に対して報告する。 ③ 環境負荷の小さい持続可能な牡蠣養殖に必要なコストにして、消費者が負担することができるように、松山市民に対してエンカル消費の啓発活動を実施する。 ④ 漂着ゴミ8割の排出源である河川ゴミの回収を行いながら、流出させない方法について研究し、松山市民に対して発表する。	高校生
13:26～13:38	チーム塩崎	学生ガイドツアー	松山市内の中学生・高校生に松山市を巡るツアーを企画してもらい、中高生が自分たちでツアーガイドをしてもらうことを考えている。 ツアーに参加する人はもちろん、ツアーガイドをする学生もツアーを企画するにあたって事前学習を行うことにより、松山の魅力を発見・再認識することができる。 また、中高生がツアーを企画することで、ありきたりな観光地だけでなく、若者ならではのスポットがツアーに組みこまれ、新たな観光地として地域の活性化に繋がることも狙いとしている。 さらに、ツアーが世代間交流の場となることで、若者にとっては、高齢者の方の知識や経験が還元され、高齢者にとっては、社会参加することで孤立感を解消できるなど両者にとって有意義な時間を過ごすことができると考える。	大学生
13:39～13:51	まちたまごプロジェクトえひめ	正岡子規が残した句をたどれ 松山ことば謎解きプロジェクト	現在、正岡子規を押し出した観光商品が多くみられるが、実際に正岡子規が詠んだ俳句や関係する施設に馴染みのない市民は多いと考える。 そこで、正岡子規が遺した「ことば」をめぐる内容の謎解きを制作・運営することで、多くの市民に彼の「ことば」を生活の一部として体感してもらうことができることに加え、松山という街を歩いてもらうきっかけにすることも目標に1つである。	大学生
13:56～14:08	レシテーション スクエア Recitation Square	It's a 朗読タイム！	高校生や大学生はスマホを使ったLINEでのコミュニケーションが日常化している。そのため、声を出さなくても生活ができる環境となっており、コミュニケーションが単調になっている。 そこで、朗読などを通して声を出すことで、ストレスを発散して気持ちがスッキリすることができる。 また、絵本や小説を朗読することで、聞いている人に日本語の素晴らしさを感じてもらえることができると考え、活動を企画した。	大学生
14:09～14:21	ベジタブル・キッチン	野菜でクッキング！	子どもが苦手と感じる野菜でもおいしく食べられるようなレシピを考え、親子で楽しむ料理教室やイベントを行うことにより、子育てに不安を感じている保護者の力になれるのではないかと考えました。 また、保育に興味のある中学生から大学生に声をかけ、一緒にイベントを考えることで、地域の子育て支援のちからになれるのではないかと考えます。	大学生
14:22～14:34	マルス MARS24	興居島レモンで広がる地域の輪	2023年に興居島のレモンが松山農林水産ブランドに認定されたことで県内外から注目度が上がり興居島の農家がレモンの生産を増やしている現状がある。 そこで今年度は、昨年度に引き続き、以下4つを柱に活動を行う。 ①「新商品の開発」 昨年度はレモンケーキであったが、今年度は興居島レモンを使用したスコーンを予定 ②「とびだせ！興居島レモン！」 松山市外のマルシェにも出店し、さらなる興居島レモンの知名度向上を目指す。 ③「レモンで食育」 興居島の児童を対象にレモンを主題にし出前授業or料理教室を予定 ④「レモンでつなぐ、想いをつなぐ」 高齢化により継続困難となった伊予柑マドレーヌの名古屋への出荷を島の婦人会から継承し、団体オリジナルのレモンケーキを出荷する。 以上の活動を通して興居島レモンの知名度向上ならびに興居島の交流人口増加を図る。	大学生
14:35～14:47	ヤング チーム 春夏秋冬 young team	つながる！ゆるっと運動会プロジェクト	学校には行けないけれど、楽しい行事には参加したいという子どもを対象に運動会を開き、外に出るきっかけになる、人と交流する機会をもつ、楽しみながら体を動かす、気分転換になるなど非日常的な経験ができる。 また、この活動を通じて多くの大人に知ってもらうことは、不登校についての理解が深まる。 これらを通して、社会全体が「不登校でも大丈夫」と前向きに考えることができれば、親は安心し、子どもは自分の将来に向けて考え、動けるようになり、その結果、自立し、社会に役立てる大人になることにつながると考えられます。	高校生
14:48～15:00	済美高校自然科学部 宇宙班	新玉宇宙教室@済美 ～宇宙を感じて科学を楽しむ～	松山市や県内には、大学生や高校生向けの宇宙や科学に関するイベントや教室は多くありますが、小学生を対象としたものは少ないと感じています。 そこで私たちは、小学生を対象に、授業・工作・科学実験を通して宇宙や科学について楽しく学べる「新玉宇宙教室@済美」を開催し、宇宙や科学に関心のある子どもたちが学ぶ機会を作りたいと思います。 また、「不思議だな」「どうしてだろう」といった疑問を持つことは、小学生たちの学ぶ意欲を育てるきっかけになると思います。「新玉宇宙教室@済美」に参加した子どもたちが楽しい時間を過ごし、宇宙が好きな仲間と出会い、「学ばって楽しい！」と感じられるような体験を提供したいと考えています。	高校生